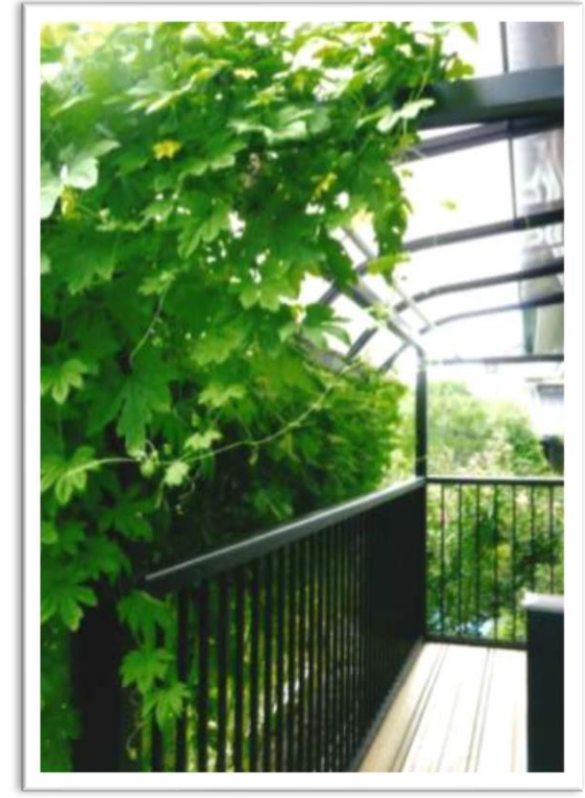


最優秀賞

西村 廣子さん（個人の部）



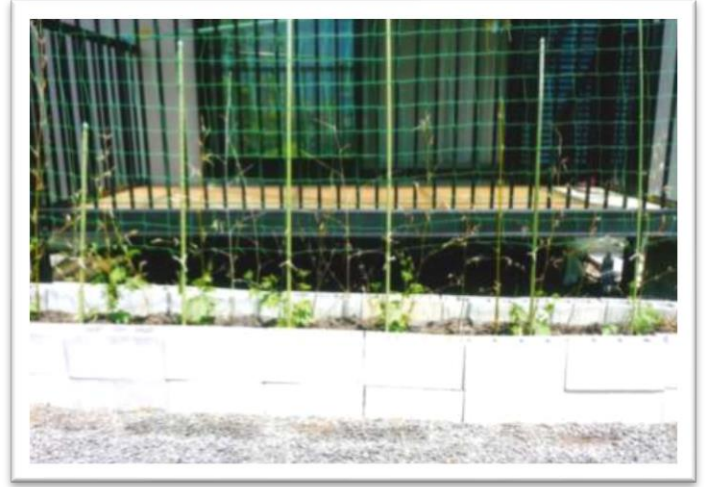
南向きのベランダ前に一面に生い茂りました。



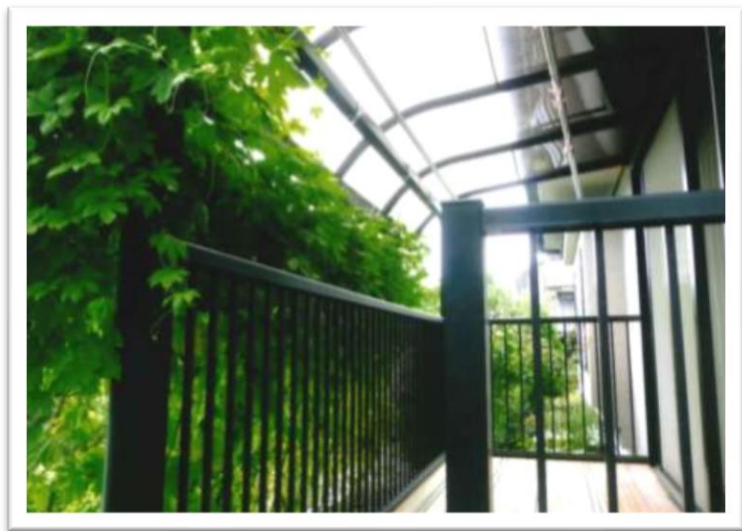
ネットからはみ出して葉が広がりました。



古い土、苦土石灰、腐葉土、牛糞を混ぜ合わせ、ビニールを掛けて発酵させました。



笹を添え木代わりにして、つるをネットまで誘導しました。



南からの日差しを和らげます。



遊びに来た友人の子供が収穫したゴーヤを手に記念撮影。

アピールポイント・感想

摘芯して子づるや孫づるを作ることで葉が生い茂り、カーテン効果に繋がりました。朝夕ゴーヤの成長を観察し、収穫時期が遅れないようにした結果、8月末で93個収穫できました。

南向きの日がよく当たる場所に植え、強い日差しを遮ることにより、室内のエアコンの設定温度を2度上げて快適に過ごすことが出来ました。エアコンをかけずに扇風機のみで過ごせる日もあり、電気代の節約にもつながりました。

また一面の緑のカーテンを眺めることで、心身のリラックスにも効果がありました。

優秀賞

小川 真純さん（個人の部）



手前にシカク豆、中にバタフライピー、奥にゴーヤとキュウリを植えました。



洗面所から撮影。家の中もカーテン効果で涼しいです。目にも優しく、リラックス効果もあります。



EM の土から発芽して、ノウゼンカズラにぶら下がったかぼちゃ。多くの皆さんに楽しんでいただけました。



アブチロンの赤、ゴーヤの花の黄色、葉や実の緑とコントラストがきれいです。

知人からいただいたバタフライピーの種を蒔いてみたら、初めて花が咲きました。



シカク豆の花で、癒し系の薄紫の花が咲きました。豆の収穫も楽しみにしています。

アピールポイント・感想

玄関の西日がついので、グリーンカーテンの効果を感じています。外と内からのグリーン効果に、精神的にも癒されています。西日のきつい洗面所、トイレ、バスと横続きにあるので、室内の熱中症予防にもつながっています。

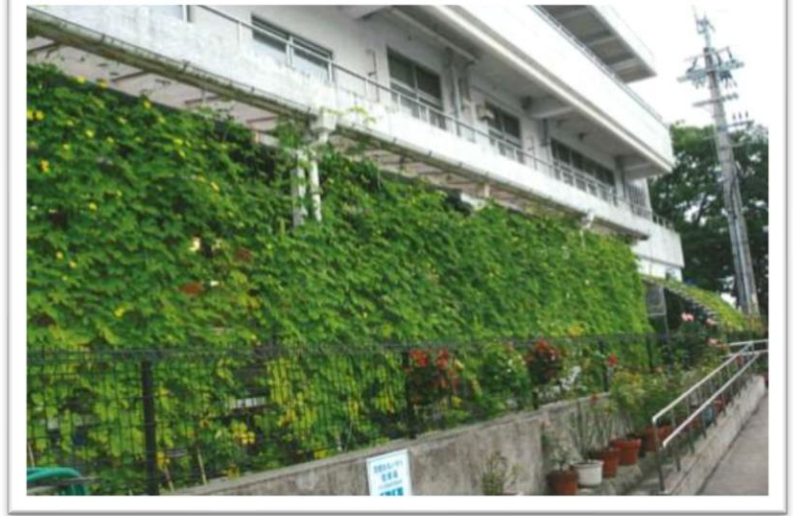
ゴーヤは、お焼きやサラダ等で食べ、夏野菜のパワーをもらって猛暑を乗り切っています。

EM 土の土から発芽し、ノウゼンカズラにぶら下がった“かぼちゃ”に心が和み、面白そうに見ていく道行く人々と話が弾みます。コロナに、猛暑に、大変な時期、かぼちゃがもたらしてくれた「縁」に感謝です。

舞鶴市身体障害者福祉センター（団体の部）



サロン「ぼーれぼーれ」のウッドデッキ外です。
きれいに茂りました。



右奥のアーチの部分は、朝顔やすずめうり、
おかわかめです。



サロンの中からの風景。とても涼しげです。



ウッドデッキ内です。
心地よい風が吹いています。



ペコニアの赤と、ゴーヤの緑がとってもきれいです。



ペコニア、バラ、ゴーヤの美しいコントラストがお客様の
目を楽しませてくれます



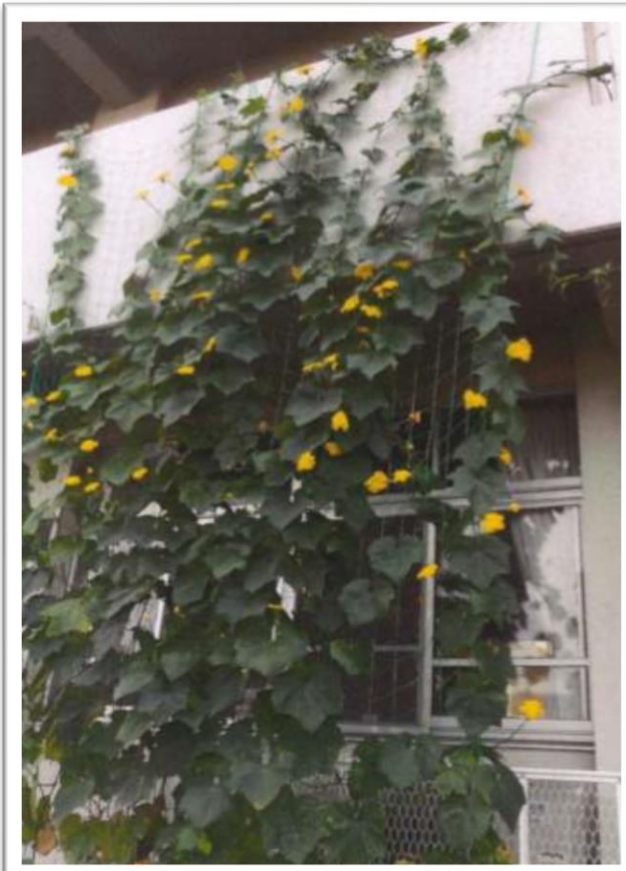
アピールポイント・感想

例年どおり、生活介護の利用者の方に植え付けをしていただき、日頃の水やり、肥料やりなどは就労の方がお世話をしました。たくさんの葉が生い茂ることで直射日光を遮ってくれて、快適な日陰でサロンの中が涼しくなりました。コロナウイルスの影響でふさがちだった気持ちも、ゴーヤの涼しげな緑に癒されました。緑のカーテンを通過した空気は、新鮮な酸素をたっぷり運んでくれます。その美味しい空気を吸い、訪れた皆さんはリラックスできたと思います。木漏れ日の中、ウッドデッキで気持ちよさそうに昼食を摂られる姿も見られました。

舞鶴市立吉原小学校（学校等の部）



大きく育ち、実ができ始めました。（ゴーヤ）



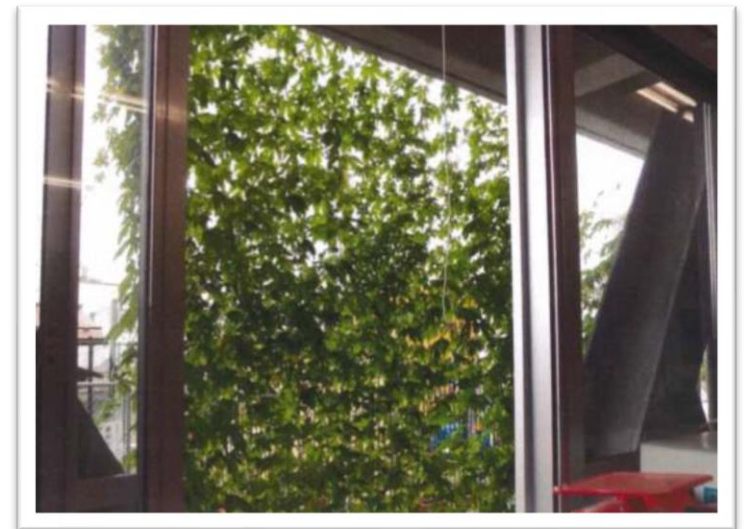
お花、め花が咲き、緑と黄色が目にはやさしいです。（ヘチマ）



日かげになった校長室



4年生が育てたヘチマ。
2回のベランダまでのびたので、4年生と1,2,3年生でお祝いをしてパチリ!!



職員室から見るゴーヤ



夏休み…早く食べてほしい…と言っているようなゴーヤ。
ついにゴーヤチップスになりました。

アピールポイント・感想

ゴーヤは職員室前に植え、たっぷり水やりをして、できた実を給食にも使用しました。ヘチマは校長室前に植え、子供たちが毎日水やりをしてヘチマのたわしにする予定です。どちらも暑さに負けず成長するように、朝夕の水やりは欠かさずやった結果、二階のベランダまで伸びました。
風に揺れると涼やかな風情であり、西日も遮られ、エアコンを止めて空気を入れ替えることも多くなりました。
教室や職員室からもみどりのカーテンが見え、涼しさを肌でも目でも感じる事が出来ました。毎日大きくなる姿を見て、楽しみも持てました。毎年取り組みをつづけていきたい。

特別賞

島田 功一さん（個人の部）



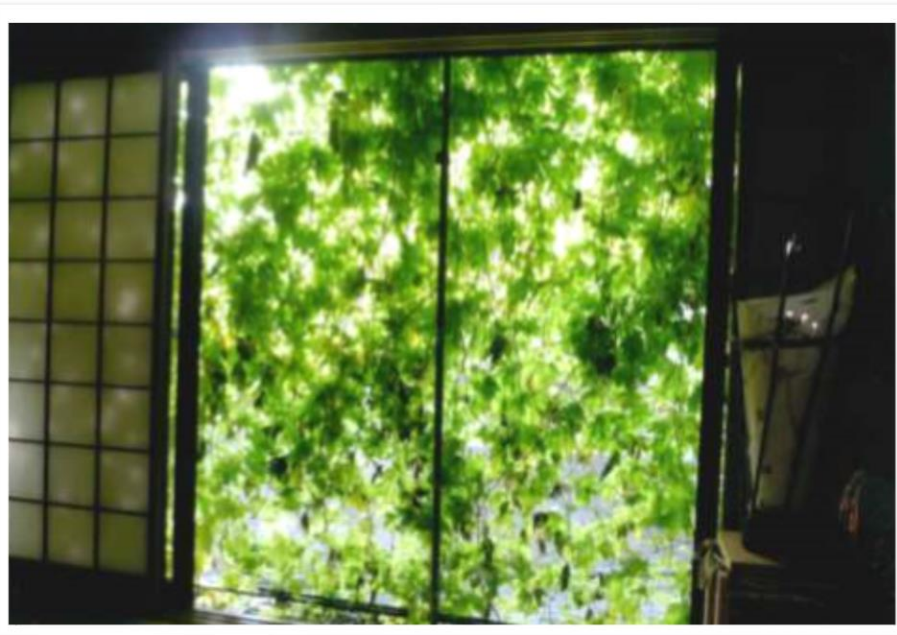
窓一面に生い茂りました。



正面から撮影。



午後からの来客時
雨戸を開けて見える風景は
何とも言えない感無量です。



ガラス戸越しに見る景色



障子越しに見る景色は幻想的な風景が現れます。

アピールポイント・感想

ネット張り、骨組が高い、長い関係で苦勞しています。

家の前を通られる人や隣近所の方々と、ゴーヤ談議に花が咲きます。

室内温度は測ったことはありませんが、エアコンの設定温度は上がっています。

みどりのカーテンづくりは今回が初めてではありません。今回は知り合いから苗をいただき、見事に育ったのでコンテストに応募しました。

特別賞

加佐公民館（団体の部）



5月15日、加佐のゴーヤ苗植え付けました！



6月10日、ゴーヤが少し大きくなり、ネットを張りました。



掌より大きく育ったゴーヤの葉！



窓に差し込む陽射しもシャットアウト。



立派なゴーヤのカーテンができました！



ゴーヤがたくさん収穫できました。

アピールポイント・感想

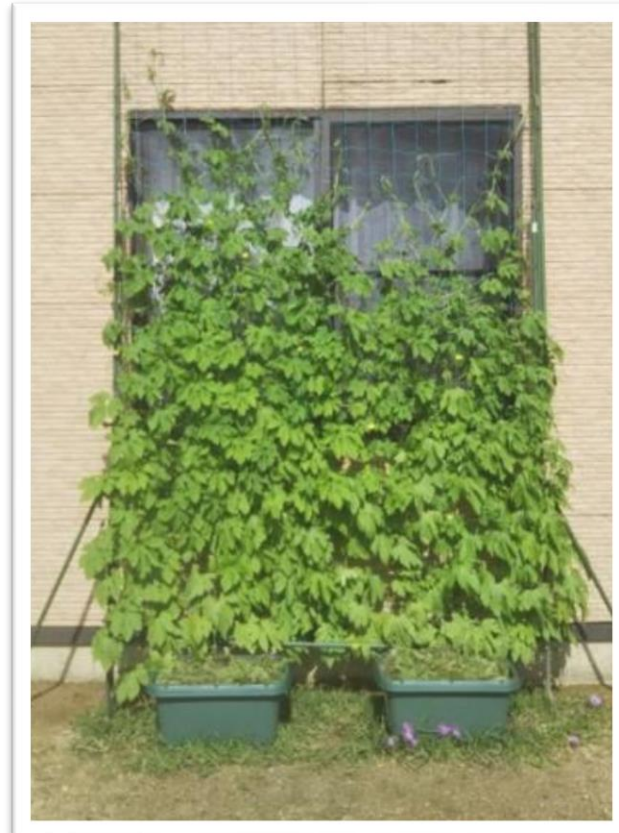
毎年こだわる土作り。土づくりの段階から、『今年も頑張るなあ』という市民の方に励ましの言葉もいただいた。培養土は、国土交通省から提供された、由良川の堤防除草の刈草で作った堆肥「加佐のめぐみ堆肥」と由良川のミネラルいっぱい含んだ肥沃な耕土を混ぜ合わせ、篩（フルイ）にかけて作る。今年は梅雨が長く、梅雨明けした途端に猛烈な暑さがやってきて、ゴーヤの生育にも大きく影響した。植え付けからの肥料の管理、毎日の水やり、例年以上にこまめに手入れを行ってくれた職員。その成果もあり、枯れることなくいつもどおりに大きく生育した。ゴーヤの葉は掌よりも大きいものが何枚もでき、ゴーヤの実の収穫もたくさんできた。育ったゴーヤの実は、公民館や分室の来館者に無償提供し、今年も喜んでいただいた。

特別賞

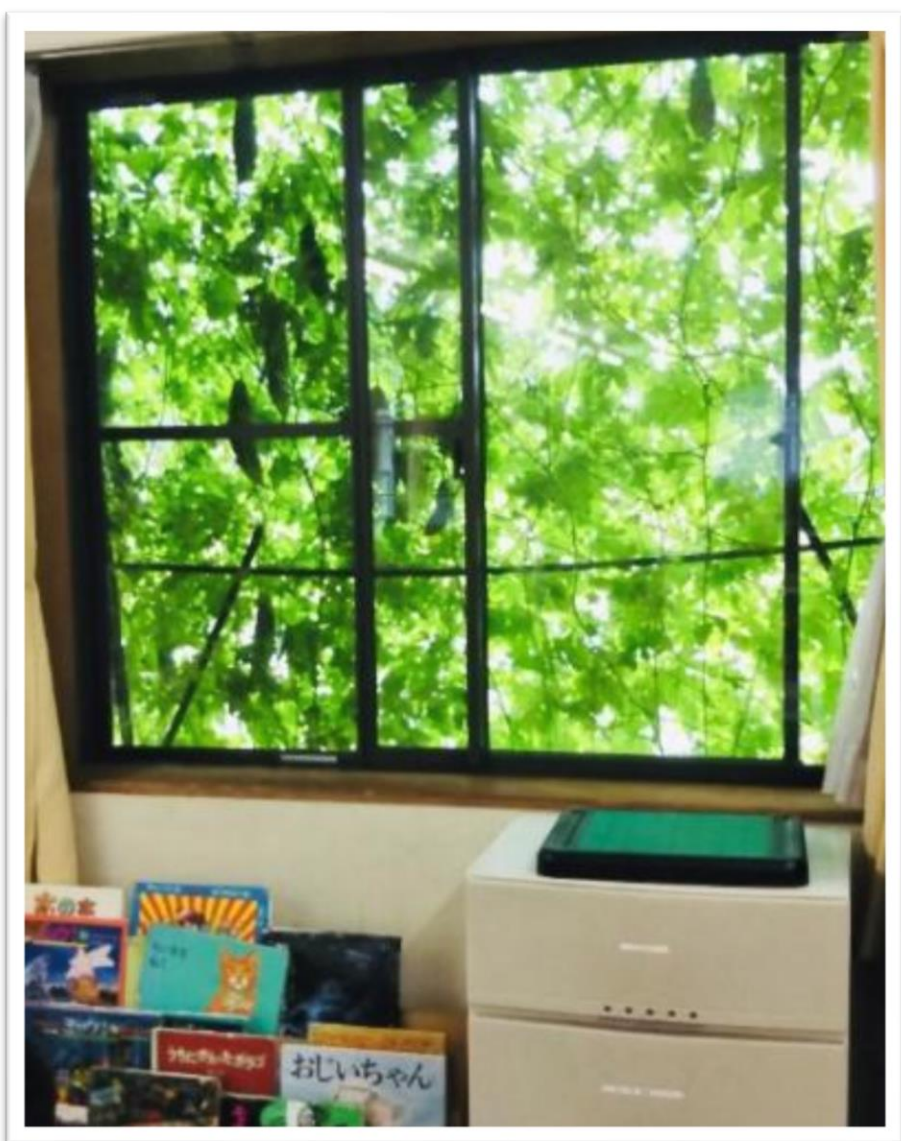
志楽児童クラブ第2（学校等の部）



全景撮影



剪定は週1回、葉の間を空けて空気が流れ込むようにしました。



室内からのゴーヤのカーテン



立派なカーテンになりました。



苗2株でゴーヤ40本収穫しました。まだまだ収穫できそう。子ども達は順番にくじ引きをして収穫物をわけました。



アピールポイント・感想

コロナの為、窓を開けているので設定温度調整が難しかったが、室内から葉の緑と隙間からのぞく空の青。実ったゴーヤから微かな香りが心を穏やかにしてくれました。

育成は2個のプランター（20ℓに1株）、追肥は週1回、水は朝夕毎日。（7,8月は20ℓのタンクを設置して点滴を一晩おとす）誘引は草の葉でネットにしぼりました。

ゴーヤの収穫や袋詰めを手伝ってくれたり、各家庭での菜園の話をしてゴーヤ栽培を通じて子ども達との関わりが深まりました。

特別賞

橘幼稚園（学校等の部）



背伸びしてもゴーヤには届かないので
思わず手を伸ばしてしまう子供たち



主に年中児が水やりをしてお世話を楽しみました。



水やりをする時間も、朝の早い時間(9:30 まで)を
意識しました。



「どこにゴーヤが隠れているか？」
見つけっこ大会!!



給食で出るみどりのお野菜が苦手な子も
“自分たちが育てた”為、ひと口、口にしま
した。なんとおかわりする子もいました。



廊下側から撮影。
葉の隙間からお庭が見え、光がこぼれて
目に入ります。

アピールポイント・感想

設置場所は、外靴を入れる下駄箱の前です。靴を脱いで、室内用上靴に履き替えて、廊下に足をおろす際に、廊下の温度が下がり涼しく感じます。

主に年中児が水やりをしてお世話を楽しみました。今回、コロナで休園もある中、久しぶりにゴーヤをみて成長ぶりに驚く姿もありました。自分たちの身長を抜き、担任の背を超えたときも大変喜びました。ゴーヤの実に緑や白があること、熟すと黄色から赤へ変化していくことに気付く子もありました。

自分たちが育てたものに対する愛着・愛情。毎日水をあげる“責任”に近い気持ち同時に育みました。これを機会に保護者の方がチャレンジして下さればよいなとも思います。